

各 位

平成 1 3 年 3 月期第 3 四半期業績等の概況



上 場 会 社 名 株式会社おりこんダイレクトデジタル
 (コード番号：4800)
 本 店 所 在 地 東京都港区六本木七丁目 15 番 14 号
 ホムペーヅ URL <http://www.oricondd.co.jp>
 問 合 せ 先 取締役管理本部長 古川 善健
 T E L (0 3) 3 4 0 5 - 5 2 5 2

1 業 績

(1) 平成 13 年 3 月期第 3 四半期 (平成 12 年 10 月 1 日 ~ 平成 12 年 12 月 31 日) の業績

(単位 : 千円、%)

	13 年 3 月期 第 3 四半期 (12.10.1 ~ 12.12.31)	対 前 年 同 期 増 減 率	13 年 3 月期 第 1 ~ 3 四半期 累計 (12.4.1 ~ 12.12.31)	対 前 年 同 期 増 減 率	前 期 (通 期) (11.10.1 ~ 12.3.31)
売 上 高	166,691	211.7	379,899	-	128,710
売上総利益	95,493	275.3	238,685	-	72,019
営 業 利 益	32,515	520.7	77,061	-	11,948
経 常 利 益	17,973	436.1	59,656	-	6,341

- (注) 1. 前年同四半期の数値に関しましては、四半期決算を行っておりませんが、月次の数字を参考にしております。
 2. 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。
 3. 前期 (通期) は、6 ヶ月決算であります。
 4. 当第 3 四半期及び第 1 四半期 ~ 第 3 四半期累計の営業外費用には、平成 12 年 11 月 6 日付のナスダック・ジャパン市場上場に伴う株式発行費用 20,147 千円が含まれております。

(2) 部門別の売上高内訳

(単位：千円、%)

	13年3月期 第3四半期 (12.10.1~12.12.31)			13年3月期 第1~3四半期累計 (12.4.1~12.12.31)			(参考) 前期(通期)	
	金額	構成比	対前年 同期比 増減率	金額	構成比	対前年 同期比 増減率	金額	構成比
放送局向けCD管理用 データベース提供	8,600	5.2	13.3	23,834	6.3	-	14,826	11.5
EC事業者向け データベース提供	56,369	33.8	291.7	137,183	36.1	-	41,224	32.0
新譜情報誌の購読料	4,559	2.7	38.5	14,555	3.8	-	12,136	9.4
新譜情報誌の広告料	10,833	6.5	41.2	28,594	7.5	-	16,385	12.7
データベース事業	80,361	48.2	123.5	204,167	53.7	-	84,572	65.7
携帯端末へのコンテンツ提供	84,529	50.7	427.6	157,901	41.6	-	35,638	27.7
ECサイトへのコンテンツ提供	1,800	1.1	-	5,830	1.5	-	1,000	0.8
デジタルコンテンツ事業	86,329	51.8	438.8	163,731	43.1	-	36,638	28.5
その他事業	-	-	-	12,000	3.2	-	7,500	5.8
合計	166,691	100.0	211.7	379,899	100.0	-	128,710	100.0

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(3) 主な資産・負債の変動について

(単位：千円)

項目	13年3月期第3四半期末 (平成12年12月31日現在)	前期末比増減額	前期末 (平成12年3月31日現在)
(資産)			
1. 現金及び預金	454,396	47,500	501,897
2. 売掛金	148,813	95,530	53,282
3. 有価証券	501,499	501,499	-
4. 建物付属設備	18,108	17,658	450
5. 工具器具備品	21,385	19,402	1,982
6. 建設仮勘定	25,243	25,243	-
7. ソフトウェア	128,163	33,304	94,858
8. 投資有価証券	765,305	765,305	-
9. 敷金	26,532	13,474	13,058
(負債)			
1. 買掛金	41,521	32,926	8,595
2. 未払金	37,922	26,164	11,757
3. 未払法人税等	20,406	15,906	4,500
(資本)			
1. 資本金	1,046,750	595,000	451,750
2. 資本準備金	902,150	715,400	186,750

(注) 1. 項目ごとの変動額が10,000千円を超えるものを記載いたしております。

2. 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(注) 当四半期に係る数値については公認会計士又は監査法人の監査を受けておりません。

2 当第3四半期（自平成12年10月1日 至平成12年12月31日）業績の概況

（1）当第3四半期の市場環境

当第3四半期（自平成12年10月1日 至平成12年12月31日）におけるわが国経済は、平成11年上半期からの緩やかな景気回復基調は依然継続しておりますが、個人消費は所得の伸び悩みから力強さが不足し、設備投資においても民需は増勢しているものの公共投資が伸び悩んでおります。しかしながら、12年11月末に事業規模11兆円の経済対策の補正予算が成立し、今後は公共投資を大幅に押し上げるものと思われれます。

一方、当社の関連するインターネット関連業界におきましては、各移動体通信キャリアのインターネット接続サービス契約加入台数は平成12年12月末に、合計2,679万台に達し、同年9月末の同台数に比べて、711万台の増加となっております。モバイルインターネットサービスの人口普及率は21.1%と急速に普及しており、その結果、インターネット世帯普及率は30%を突破するなど、今後もインターネット人口は増大し、EC市場も更なる成長を遂げるものと思われれます。

なお、経済産業省の外郭団体、電子商取引推進協議会（ECOM）とアクセンチュア（旧アンダーセンコンサルティング）の市場予測によれば、日本の電子商取引市場（EC）は企業間取引（B to B）は平成17年に110兆円と平成12年の約5倍、個人向け取引（B to C）も平成17年には13兆3千億円と平成12年の約16倍へ急拡大する見通しであります。

このような市場環境のもと、当社は、当第3四半期中の平成12年11月6日に大阪証券取引所ナスダック・ジャパン市場（スタンダード基準）に上場いたしました。平成11年10月1日設立の当社は社歴の浅い企業ではありますが、更なる業績向上に注力し、株主の皆様並びに投資家の皆様のご期待に添えますように尽力する所存であります。

当社の当第3四半期における業績の概要は次のとおりです。

（2）当第3四半期の業績

はじめに当第3四半期の部門別売上高の状況を前四半期との比較を中心に記載いたします。

（部門別売上：データベース事業）

ECの普及を背景に、当社が保有する楽曲データベースを検索に利用する必要性が高まる中で、検索項目の多様化などデータベースのクオリティアップを図り、EC事業者に対する利便性の向上に注力いたしました。これに伴いデータベース提供契約者数は、当第3四半期末日（平成12年12月31日）では30社となり、前四半期末日（平成12年9月30日）の25社から5社増加いたしました。

この結果、データベース事業部門主力の「EC事業者向けデータベースの提供」が伸長し、当第3四半期では56百万円の売上となり、前四半期（自平成12年7月1日 至平成12年9月30日）に比して38.8%増加（前年同四半期比は3.92倍に増加）しました。その他「放送局向けデータベースの提供」の前四半期比14.5%増加及び「新譜情報誌の広告料」の前四半期比16.0%増加も寄与した結果、データベース事業全体では、売上高80百万円と前四半期に比して29.1%増加（前年同四半期比は2.23倍に増加）し、当第3四半期における売上高構成比は48.2%となりました。

なお、データベース事業部門の平成13年3月期中の第1四半期から当第3四半期まで（自平成12年4月1日 至平成12年12月31日）の累計売上高は204百万円、売上高構成比は53.7%となりました。

(部門別売上：デジタルコンテンツ事業)

前述のとおり、急増する各移動体通信キャリアのモバイルインターネットサービス向けに、音楽情報における当社データベースを活用したコンテンツである「OriconDD TOPHIT」、「全国CLUB情報」及び「OriconDD 速メロ」を提供しておりますが、音楽情報における当社のブランド力も功を奏しコンテンツ有料会員数は、当第3四半期末(平成12年12月31日)では、前四半期末(平成12年9月30日)の有料会員数に比して約2倍に増加いたしました。

各移動体通信キャリアへの提供コンテンツ及びコンテンツの特徴は次表のとおりであります。中でも着信メロディーサービスの「OriconDD 速メロ」は、J-PHONE(J-SkyWeb)向けが平成12年8月17日、及びKDDI(EZweb)向けが同12年8月30日にそれぞれサイトを立ち上げておりますが、最新の週間ヒットチャートベスト20(毎週木曜日更新)からリアルタイムに着信メロディーのダウンロードが可能なことなどから、有料会員数は大幅な増加となっております。

この結果、「携帯端末へのコンテンツ提供」が伸長したため、デジタルコンテンツ事業部門全体の当第3四半期(自平成12年10月1日至平成12年12月31日)の売上高は86百万円と前四半期(自平成12年7月1日至平成12年9月30日)に比して83.6%増加(前年同四半期比は5.39倍に増加)した結果、当第3四半期における売上高構成比は51.8%となりました。

なお、デジタルコンテンツ事業の平成13年3月期の第1四半期から当第3四半期(自平成12年4月1日至平成12年12月31日)までの累計売上高は163百万円、売上高構成比は43.1%となりました。

(ご参考) 当社コンテンツの各移動体通信キャリアへのサービス提供(公式サイト)状況

コンテンツ キャリア	OriconDD TOPHIT	全国クラブ情報	OriconDD 速メロ
iモード			-
J-SkyWeb			
EZweb	-		
DDI H”		-	-

(ご参考) 当社コンテンツのサービス内容

コンテンツ名	特 徴
OriconDD TOPHIT	<ul style="list-style-type: none"> ・ ランキング、アーティスト情報を毎日更新 ・ 300万曲、30万タイトルのアーティスト検索、楽曲検索等が可能 ・ 料金は月額 100 円
全国クラブ情報	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全国のクラブ約 250 店舗と提携し、各クラブの詳細情報(クラブ名、ジャンル、住所、電話番号、営業時間)と月間約 1,500 のイベント情報(イベント名、日程、場所、DJ 名、出演アーティスト名)を毎日更新 ・ クラブサウンドランキング(都内アナログ専門店の売上順位を各ジャンル別に掲載) ・ オススメイベント情報(毎週一押しイベント情報を掲載) ・ 最新クラブニュース(クラブ業界の動向や流行チェックとしても便利な様々なニュースを掲載) ・ クラブコラム(クラブイベントレポートや音の話、DJ の話など毎週ランダムにコラムを掲載) ・ プレゼントコーナー(クラブからのグッズプレゼント) ・ 料金は無料(一部有料 300 円/月) ・ 会員にはクラブでの割引サービス有
OriconDD 速メロ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最新のオリコンヒットチャートベスト 20(毎週木曜日更新)からリアルタイムに着信メロディーのダウンロードが可能 ・ 料金は月額 100 円(3 曲)、200 円(7 曲)いずれかのダウンロードが可能

(部門別売上：その他事業)

その他事業は、顧客の要望により顧客の EC サイト立ち上げに伴う、サイト構築及びコンサルティング等をスポット的に実施するものでありますが、当第 3 四半期(自 平成 12 年 10 月 1 日至 平成 12 年 12 月 31 日)の売上計上はありませんでした。

なお、その他事業部門の平成 13 年 3 月期中の第 1 四半期から当第 3 四半期まで(自平成 12 年 4 月 1 日至平成 12 年 12 月 31 日)の累計売上高は 12 百万円、売上高構成比は 3.2%となりました。

損益計算書関係

当第 3 四半期(自 平成 12 年 10 月 1 日 至 平成 12 年 12 月 31 日)の損益計算書における大科目別状況を前年同四半期(自 平成 11 年 10 月 1 日 至 平成 11 年 12 月 31 日)との比較を中心に記載いたします。

(売上高)

当第 3 四半期の売上高は 166 百万円と前年同四半期に比して、113 百万円増加(3.12 倍に増加)しました。

売上高増加の要因は現在の当事業の 2 本柱である、デジタルコンテンツ事業売上高が 86 百万円と前年同期に比して 70 百万円増加(5.39 倍に増加)及びデータベース事業売上高が 80 百万円と前年同期に比して 44 百万円増加(2.23 倍に増加)と揃って大きく増収したことによります。

(売上原価)

当第3四半期の売上原価は、71百万円と前年同四半期に比して、43百万円増加(153.9%増)しました。売上原価増加の要因は、「着信メロディー」のコンテンツ提供を平成12年8月17日にJ-PHONE(J-SkyWeb)及び平成12年8月30日にKDDI(EZweb)にそれぞれサービス開始したことに伴う支払手数料(各移動体通信キャリアへの有料会員からの集金代行手数料、システム提携先とのインフラ使用手数料、JASRACへの著作権使用料)が新たに33百万円発生したことに加え、既存データベースの利便性の更なる向上及びコンテンツ充実を目的とした増員により労務費が14百万円と前年同四半期に比して、8百万円増加したことによりますが、売上高増加に伴い当第3四半期の売上原価率は、42.7%と前年同四半期(52.4%)に比して9.7ポイント改善されております。

(売上総利益)

当第3四半期の売上総利益は、95百万円と前年同四半期に比して、70百万円増加(275.3%増)しました。また、当第3四半期の売上総利益率は57.3%と前年同四半期(47.6%)に比して、9.7ポイント上昇しました。

売上総利益増加の要因は前述の売上高増加によるものであります。

(販売費及び一般管理費)

当第3四半期の販売費及び一般管理費は、62百万円と前年同四半期に比して、42百万円増加(211.7%増)しました。

当第3四半期の人件費は36百万円と前年同四半期に比して、22百万円増加しました。人件費増加の主な要因としては、平成11年10月設立以降の業容拡大に付随したものと及び株式上場に伴うタイムリーディスクロージャー体制を含めた社内管理体制強化を目的とした役職員を10名増員したことによるものであります。

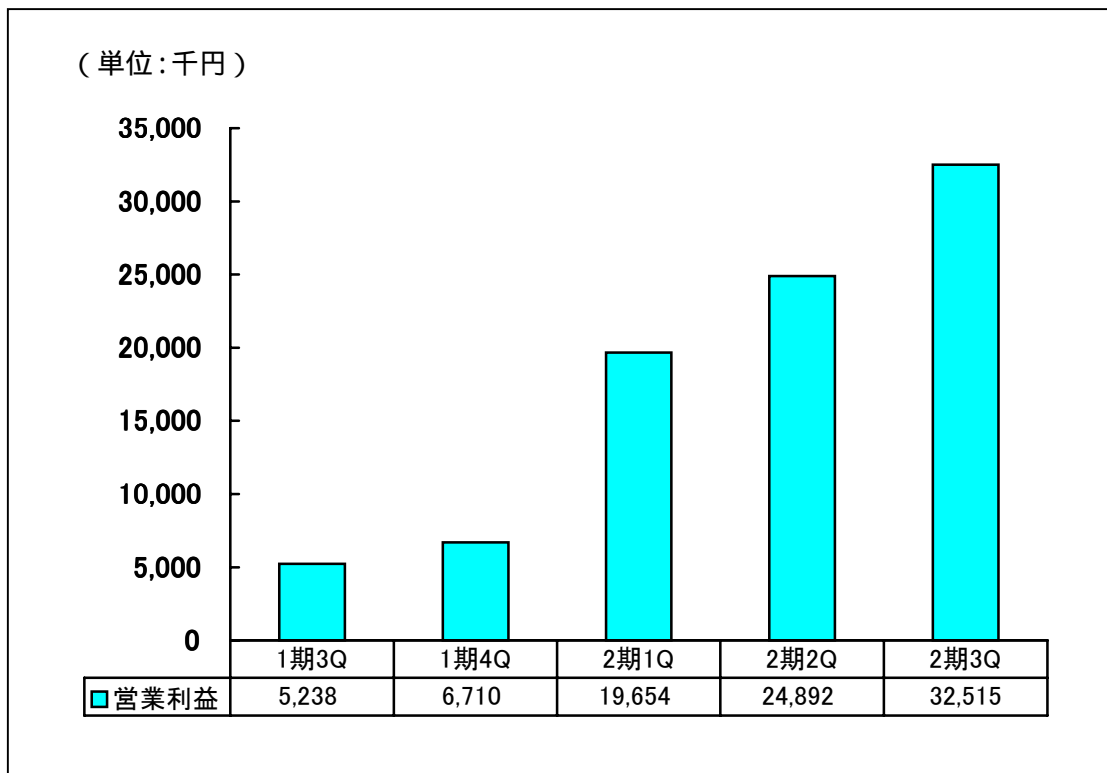
当第3四半期の一般管理費は23百万円と前年同四半期に比して、17百万円増加しました。一般管理費増加の主な要因としては、事業規模拡大を睨んだ増床による地代家賃の増加や役職員増員に伴う諸経費の増加によるものであります。

前述のとおり、将来的な業容拡大を睨み、先行的に投資をしたにも拘わらず、当四半期の販管費比率は37.8%と前年同四半期とほぼ同率となりました。

(営業利益)

当第3四半期の営業利益は、32百万円と前年同四半期に比して、27百万円増加しました。また、当第3四半期の営業利益率は19.5%で前年同四半期(9.8%)に比して9.7ポイント上昇しました。

(ご参考) 当社設立(平成11年11月1日)以降の四半期別営業利益の推移



(営業外収益)

当第3四半期の営業外収益は、5百万円と前年同四半期に比して、5百万円増加しました。主な要因としては、雇用創出人材確保助成金の計上によるものであります。

(営業外費用)

当第3四半期の営業外費用は、20百万円と前年同四半期に比して、18百万円増加しました。主な要因としては、大阪証券取引所ナスダック・ジャパン市場上場日の平成12年11月6日付の有償一般募集に伴う株式発行費用を20百万円計上によるものであります。

(経常利益)

当第3四半期の経常利益は、17百万円と前年同四半期に比して、14百万円の増加(436.1%増)となりましたものの、上場に伴う株式発行費20百万円計上という特殊要因により、営業外損益が純額で16百万円の損失計上したことが、経常利益増加を抑える大きな要因となりました。

また、当第3四半期の経常利益率は10.8%と前年同四半期(6.3%)に比して、4.5ポイント上昇しました。

(特別利益、特別損失)

当社は設立以来、特別利益及び特別損失ともに計上しておりません。

貸借対照表関係

貸借対照表の大科目について、主として当第3四半期末日（平成12年12月31日現在）と前期末日（平成12年3月31日現在）を比較して記載いたします。

当第3四半期末日における資産合計は、2,103百万円と前期末日に比して、1,428百万円の増加、同様に負債合計は、115百万円と前期末日に比して、82百万円の増加、同様に資本合計は、1,987百万円と前期末日に比して、1,345百万円の増加となりました。資本増加の主な要因は、平成12年11月6日付の有償一般募集1,000株に伴う株式払込みによるものであります。

（ご参考）発行済株式総数、資本金等の推移

年月日	発行済株式総数		資 本 金		資 本 準 備 金		摘 要
	増 減 数	残 高	増 減 額	残 高	増 減 額	残 高	
	株	株	千円	千円	千円	千円	
平成11年10月1日	2,300	2,300	115,000	115,000	-	-	会社設立
平成12年1月31日	100	2,400	5,000	120,000	-	-	新株引受権の権利行使による増加
平成12年3月29日	2,900	5,300	145,000	265,000	-	-	新株引受権の権利行使による増加
平成12年3月30日	747	6,047	186,750	451,750	186,750	186,750	有償第三者割当 747株 発行価格 500,000円 資本組入額 250,000円
平成12年5月31日	6,047	12,094	-	451,750	-	186,750	株式の分割による増加 (1:2)
平成12年11月6日	1,000	13,094	595,000	1,046,750	715,400	902,150	有償一般募集 1,000株 発行価格 1,400,000円 資本組入額 595,000円

主な資産・負債の勘定科目の変動事由は次のとおりです。

（流動資産）

当第3四半期末日の流動資産は1,113百万円と前期末日に比して550百万円増加しております。主な要因としては、有価証券を501百万円（前期末日は未計上）計上していることによりです。主な内訳は、要求払預金に近い性格のフリーファイナンシャルファンド（追加型投資信託）300百万円及び中期国債ファンド（追加型投資信託）200百万円であります。なお、短期で現金化可能な金融商品で運用している事由は、設備資金及び事業のアライアンス等を勘案した有価証券取得の原資と位置付け、フレキシブルな投融資に対応するためであります。

（固定資産）

当第3四半期末日の固定資産は989百万円と前期末日に比して878百万円増加しております。主な要因として、当四半期末日は投資有価証券を765百万円（前期末日は未計上）計上していることや、ネットワーク強化関連費用を中心とした設備投資を行ったことによりです。なお、投資

有価証券の主な内訳は、確定利回りの円建て債券 500 百万円（券面金額）、公社債投資信託 110 百万円、株式投資信託 100 百万円の他、将来のアライアンスパートナーになり得る企業に 60 百万円（3社）の投資を実施しました。

当社は運用に関しては、安全性の高い金融商品を中心に、投資に関しては、事業のアライアンスを念頭に、機を見て敏速に行う方針であります。

3 当期の見通しについて

当社は業績予想を開示しておりません。

4 その他

ECならびに情報携帯端末の普及はますます加速していくものと思われませんが、その中で、当社はEC市場における音楽情報ベンダーとしての地位を確立しつつあるものと認識しております。

今後ともデータベースの更なるクオリティアップ、情報携帯端末向けコンテンツの拡大及び充実によって契約者や会員数の維持拡大を図り業績をさらに伸ばしていくように努めてまいります。

なお、当社はアジア各国を中心とした海外でのJ-POPの携帯電話へのコンテンツ提供及びデータベース事業を三井物産株式会社と共同で行うため、平成13年1月24日付で株式会社ドリームスピナーズ（期間損益は黒字計上）の株式（額面普通株式1株5万円）を第三者割当増資引受により、子会社化（増資後同社株式所有比率55.0%）いたしました。

当社としては、アジアでの著作権管理のノウハウに精通した株式会社ドリームスピナーズを通じて、東アジアを中心に現在非常に人気の高いJ-POPのコンテンツ提供事業を開始致します。まず、アジア各国のうち韓国・台湾等の現地企業と株式会社ドリームスピナーズで、現地に合弁企業を設立し、着信メロディー配信等の日本の音楽コンテンツ提供事業を行います。また、将来的には、着信メロディー配信については欧米を含む世界的規模に拡大すると共に、コンテンツ提供を行う各国においても、J-POPを含む日本及び欧米の音楽情報データベース等を構築し、データベース事業も推進していく方針です。

IT関連業界におけるデータベース提供及びコンテンツ提供を2本柱として、増収増益を続けている当社は今後ともに業績向上に努めてまいります。

平成13年1月20日に当社代表取締役社長小池恒の実父である株式会社オリコンの代表取締役会長兼社長である小池聰行氏が脳出血のため死去いたしました。小池聰行氏はヒットチャート等で有名な株式会社オリコンの代表取締役会長兼社長でありましたが、当社の経営には、取締役を辞任した昨年3月以降は、全く関与しておりませんでした。また、株式会社オリコンと当社との取引関係はあるものの、当社設立当時より、他の企業と同一条件下で行っております。なお、当第3四半期における当社に対する取引高は当社の売上計上額のうち4.6%、当社の売上原価計上額のうち4.9%であります。

当社上場時の平成12年11月6日現在の当社の筆頭株主は、有限会社小池聰行事務所4,424株、2位は小池聰行氏2,674株であります。小池聰行氏の相続人は、配偶者である尚子夫人、長男の恒、長女の結実氏及び次男の秀効氏であります。なお、有限会社小池聰行事務所の取締役社長には、小池恒が就任する予定であります。